

社会福祉活動の輪が、すべての人たちにいきわたる年に

社会福祉法人京都府社会福祉協議会

会長 小畑 英明



新年明けましておめでとうございます。

はじめに、福祉・介護サービスの提供や各種相談・支援など地域福祉の最前線で日夜御奮闘いただいている皆様

に心からの感謝と敬意を表します。

さて、一昨年より続く物価高騰などにより、社会経済活動や府民の生活は大きな影響を受けています。

また、福祉・介護施設の運営も厳しいものになっていきます。

また、ICT化等生活を取り巻く環境が著しく変化しており、社会福祉事業もICT化・デジタル化を積極的に進めていくことが重要な課題となっています。

安心した暮らしを支える社会福祉の役割が大きくなっているとともに、人と人の絆や交流や地域のつながり、支え合うことがますます重要になってきていると考えます。

新しい年においても、京都府社会福祉協議会といたしましては、地域で重層的に見守る「絆ネット」づくりや総合的な地域福祉権利擁護システムの構築、温ったか京都・寄り添いワーカー

を中心とした生活困窮者支援、福祉を支える人と組織の支援などに積極的に取り組んでまいります。

第5次中期計画の「つながりをいかにして、だれもが尊厳をもつていきることができる社会をつくる」という基本理念のもと、持続可能な達成目標（SDGs）も意識して、人も組織も安心と成長を感じることのできる地域づくりを進めてまいります。

また、地域福祉を取り巻く社会経済環境の変化に対応して、指針となる次期中期計画も策定してまいりたいと考えております。

そのためには、今まで以上に行政や市町村社会福祉協議会、民生委員・児童委員、社会福祉施設、当事者団体、福祉関係団体、ボランティアをはじめ多様な分野の方々との連携を深めて、

誰一人取り残さない地域共生社会の実現を目指してまいりますので、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年の干支は、甲辰にあたります。干支の「甲」は草木などが成長していくことを表す意味があり、勢いが増していく状態。「辰」は草木の形が整った様子を意味します。成功という芽が成長し姿を整えていく意味合いがあります。また龍から活気づく年になるとも言われています。皆様とともに進めてきた社会福祉活動の輪をさらに広げ、その輪がすべての人たちにいきわたる年にしていきたいと願っております。

皆様にとりまして、本年が素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年の御挨拶といたします。

